

北海道高等学校文化連盟

第13回全道高等学校ボランティア研究大会開催要項

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟
- 2 主 管 北海道高等学校文化連盟ボランティア専門部
北海道高等学校文化連盟石狩支部
- 3 後 援 北海道教育委員会
- 4 当 番 校 北海道札幌開成高等学校・市立札幌開成中等教育学校
札幌市東区北22条東21丁目
TEL 011-871-7181
FAX 011-871-5629
- 5 期 日 平成28年11月21日（月曜日）12：15～17：00
11月22日（火曜日） 9：00～12：30
- 6 会 場 ・1日目：札幌市民ホール（わくわくホリデーホール）
札幌市中央区北1条西1丁目 TEL：011-252-3700
・2日目：北海道札幌開成高等学校・市立札幌開成中等教育学校
札幌市東区北22条東21丁目 TEL 011-781-8171
※2日目は、学校ですので、上靴をご持参下さい。
- 7 参加資格 道高文連に加盟した学校の生徒であること。
- 8 参加経費 1校 1,000円（当日受付で徴収します。）
- 9 参加申込 所定の申込用紙に必要事項を記入し、10月11日（火）までに
北海道札幌開成高等学校 高文連ボランティア研究大会事務局宛に送付を
お願いします。 mail：takashi.suzuki@sapporo-c.ed.jp
（参加申込書は、開成高校HPからダウンロードできます。）
（E-Mail と文書での提出をお願いします。メールでの受付は、上記の期
日を守り送信して下さい。受信後は、確認の返信をしますので送信後2・
3日しても確認のメールがない場合は、電話等で連絡を下さい。
また、文書の提出は、必ず校長の職印を押印し提出して下さい。提出は、
郵送でも当日の受付でもかまいません。）
- 10 宿泊申込 宿泊等は特に斡旋いたしません。各学校で対応してください。
- 11 大会事務局 第13回全道高等学校ボランティア研究大会事務局（担当 鈴木）
〒065-8558
北海道札幌市東区北22条東21丁目1番1号
北海道札幌開成高等学校内
TEL 011-781-8171 FAX 011-781-5629
mail：takashi.suzuki@sapporo-c.ed.jp

北海道高等学校文化連盟

第13回全道高等学校ボランティア研究大会開催要領

1 目 的 ボランティア活動に取り組む高校生の研修と情報交換、交流の場を設ける。

2 テ ー マ 『 ボランティアでつなげる新たな未来
～ 思いやりを行動に、広げよう共生の環 ～ 』

3 研修内容

(1) 全体講演 演題 『冬季の災害を想定して 一いのちを守る知識・技術・行動一』

講師 日本赤十字北海道看護大学

看護薬理学領域

災害対策教育センター

教授 根本昌宏氏

(2) 分科会

第1分科会 車いすソフトボールについて、知る、体験する！

第2分科会 聴覚に障がいのある方のお話を聞こう

第3分科会 視覚に障がいのある方のお話を聞こう

第4分科会 盲導犬について学習しよう

第5分科会 かんたんらくらく介護教室

第6分科会 ボランティア活動に役立つ子どもへの読み聞かせ

第7分科会 地域見守りサポーター養成講座

第8分科会 ボランティアに役立つ傾聴の技法

第9分科会 運動・遊びを通してのコミュニケーション

第10分科会 観光ボランティアガイド余話

第11分科会 ボランティアがつくる国際都市

第12分科会 体験しよう「世界がもし100人の村だったら」

(詳細は別紙「分科会のご案内」参照)

4 日 程 第1日目 (11月21日 月曜日) 札幌市民ホール

12:15～12:45 受付

12:45～12:55 顧問会議

13:00～13:20 開会式

13:30～15:00 全体講演

15:00～15:30 交流の場Ⅰ

15:30～16:30 総文祭報告・実践報告

総文祭報告：滝上高等学校・岩見沢農業高等学校

実践報告：札幌丘珠高等学校・山の手高等学校

16:30～17:00 交流の場Ⅱ

第2日目 (11月22日 火曜日) 札幌開成高校・札幌開成中学校

9:00～11:00 分科会

(上靴をご持参下さい。)

11:20～12:00 全体会

12:10～12:30 閉会式

1日目の交流会、および2日目分科会の内容について

☆ 大会第1日目の『交流の場』では各校の活動を紹介したリーフレット（A4版で様式は自由）を持ち寄り、各校の取り組みを綴った小冊子を製作したいと考えています。

参加する学校は、自校の活動報告をA4版1枚（左側にパンチ穴を開ける）を作製し、参加生徒分を印刷してご持参ください。（印刷する枚数については、参加人数が確定後に、各学校に連絡します。

☆ 2日目は12の分科会を開講します。各分科会の内容は次のとおりです。服装、持ち物などの注意事項を記載しましたので、分科会選択の際には必ずご確認ください。

☆ 各分科会には人数の制限があります。そのため分科会の希望は必ず第3希望までご記入ください。必ずしも希望通りにならないことがありますので、予めご了承下さい。

申込終了後、調整し第1希望以外の分科会となった場合は必ずご連絡いたします。

第1分科会 「車いすソフトボールについて、知る、体験する！」

講師 車いすソフトボールオールジャパン 監督 齋藤 雄太氏

車いすソフトボールは、障がいのある人とない人が、共に play できるスポーツです。

今回は、車いすソフトボールのオールジャパンの監督や選手のみなさんとともに、車いすソフトボールを体験し、このスポーツを楽しんでみたいと思います。

*ジャージ等の動きやすい服装で参加してください。

第2分科会 「聴覚に障がいのある方のお話を聞こう」

講師 公益社団法人札幌聴覚障害者協会

耳が聞こえないとはどういうことか、生活のなかの不便なことやコミュニケーション方法を学びましょう。また、聞こえない人の「言語」である手話で、簡単な挨拶や自己紹介をしてみましょう。

第3分科会 「視覚に障がいのある方のお話を聞こう」

講師 山田 英雄氏

高齢者施設で19年間ソーシャルワーカーを務めた山田さんは、網膜色素変性症で弱視となったあとも盲学校に通って鍼灸マッサージの資格を取り、仕事について意欲的な毎日を送っていらっしゃいます。どのような支えがあって障がいを受け入れて暮らしているのでしょうか。ハンデを抱える思い現状に立ち向かう山田さんの生々しい暮らしぶりから、障がいを持つ側から見た社会について考えます。

第4分科会 盲導犬について学習しよう」

講師 北海道盲導犬協会

北海道盲導犬協会講師の方から盲導犬について、訓練や生活について詳しくお話をしていただきます。また、盲導犬のデモンストラレーションや人数により全員ではないですが歩行体験などで、盲導犬についての学習をしたいと思います。

第5分科会 「かんたんらくらく介護教室」

講師 札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター

福祉人材研修係 伊藤 清恵氏 ・ 遠藤 明美氏

歳をとるということはどういうことなのでしょうか？

この分科会では参加した生徒に高齢者疑似体験セットを装着してもらい、加齢に伴う身

体の変化を実際に体験し、高齢者への理解を深めてもらおうと思います。

* ジャージ等の動きやすい服装で参加してください。

第6分科会 「ボランティア活動に役立つ子どもへの読み聞かせ」

講師 音読サロン「郷音 ～さとね～」主宰/フリーアウンサー 田嶋 扶二子 氏

保育所等で子どもに読み聞かせのボランティア活動をする際に役立つ効果的な読み方や技術を、フリーアウンサーの方から楽しく学びます。

読み方の基本となる「発声練習」も体験できます。

第7分科会 「地域見守りサポーター養成講座」

講師 社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 地域福祉課

誰かの助けさえあれば亡くならず済んだかも知れない「孤立死」が増えています。そんな痛ましい「孤立死」をなくすため、通学途中でも「ちょっと気にかける」「何気なく見守る」ことで防げることがあるのを学び、地域で困っているお年寄りや子育て世帯のサポーターになってみませんか？

第8分科会 「ボランティアに役立つ傾聴の技法」

講師 特定非営利活動法人 北海道総合福祉研究センター 理事長 五十嵐 教行 氏

「傾聴」とは、一言で言ってしまうと「ひとの話を聴くこと」。誰でもできるし誰もがやっているように思いますが、実はそうではありません。つい、ひとの話を遮りたくなったり、つい、ひとの話を腰を折ってしまったり…。「話し相手ボランティア活動」はもとより、日常生活にもおおいに役立つ「傾聴」の世界を学んでみませんか？

第9分科会 「運動・遊びを通してのコミュニケーションとリラクゼーション～体験」

講師 北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科 教授 増山 尚美 氏

初対面の方に接したり、初めての場所で活動を行おうとするときに、集団の雰囲気や和ませ人との距離を近づけるアイスブレイキングのゲームを体験します。また、ペア・ストレッチ等のリラクゼーションのプログラムを通して、こころと体をほぐしていきましょう。

* ジャージ等の動きやすい服装で参加してください。

第10分科会 「観光ボランティアガイド余話」

講師 札幌商工会議所 観光ボランティアガイドの会 猪股 修輔 氏

札幌を訪れる観光客が年々増加傾向にあります。札幌商工会議所 観光ボランティアの会メンバーも毎日各所でガイド活動を活発に行なっています。会の活動状況及び観光ボランティアガイドの基礎知識として「マナー」、「サービス」、「ホスピタリティ」、「おもてなし」等について一緒に考えてみたいと思います。

第11分科会 「ボランティアがつくる国際都市」

講師 札幌国際プラザ 多文化交流部

近年、外国に行くと、そこに暮らすことが、ますます身近になってきました。高校生もインターネットなど通じて、外国についてたくさんの情報を得たり、外国人と交流することが出来ます。

では逆に、外国から見た私たちの街は「国際都市」と呼べるのでしょうか？自分たちがどんな「国際都市」を目指すのか、講義と体験を通じて考える機会を作ります。

第12分科会 体験しよう「世界がもし100人の村だったら」

講師 市立札幌開成中等教育学校 ボランティア局

世界には約70億もの人がいますが、それを100人に縮めてみたらどうなるでしょう？

メールメッセージで広がった「世界がもし 100 人の村だったら」を使い、実際に身体を使いながら世界の格差や多様性を体感します。運営は、開成中等教育学校のボランティア局の生徒が進めます。不慣れでうまくいかないこともあるかもしれませんが、一緒に体験し、考えたいと思います。